

2017 | 環境レポート  
Environmental Report

The bottom half of the page features a large, abstract graphic composed of overlapping, semi-transparent green triangles and polygons, creating a dynamic, geometric pattern that transitions from a light green at the top to a slightly darker green at the bottom.

東芝グループは、環境を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、環境経営を推進しています。また「経営理念」に沿って、環境に関する具体的な考え方を示した「環境基本方針」を定め、グループ全体で共有しています。

## 東芝グループ経営理念

東芝グループは、人間尊重を基本として、豊かな価値を創造し、世界の人々の生活・文化に貢献する企業集団をめざします。

### 1.人を大切にします。

東芝グループは、健全な事業活動をつうじて、顧客、株主、従業員をはじめ、すべての人々を大切にします。

### 2.豊かな価値を創造します。

東芝グループは、エレクトロニクスとエネルギーの分野を中心に技術革新をすすめて、豊かな価値を創造します。

### 3.社会に貢献します。

東芝グループは、より良い地球環境の実現につとめ、良き企業市民として、社会の発展に貢献します。

---

東芝グループスローガン

人と、地球の、明日のために。

## 東芝グループ環境基本方針

東芝グループは、「かけがえのない地球環境」を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会をめざした環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

### ◆環境経営の推進

- ・環境への取り組みを、経営の最重要課題の一つとして位置づけ、経済と調和させた環境活動を推進します。
- ・事業活動、製品・サービスにかかわる環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の防止などに関する環境目的および目標を設定して、環境活動を推進します。
- ・監査の実施や活動のレビューにより環境経営の継続的な改善を図ります。
- ・環境に関する法令、当社が同意した業界などの指針および自主基準などを遵守します。
- ・従業員の環境意識をより高め、全員で取り組みます。
- ・グローバル企業として、東芝グループ一体となった環境活動を推進します。

### ◆環境調和型製品・サービスの提供と事業活動での環境負荷低減

- ・地球資源の有限性を認識し、製品、事業プロセスの両面から有効な利用、活用を促進する、積極的な環境施策を展開します。
- ・ライフサイクルを通して環境負荷の低減に寄与する環境調和型製品・サービスを提供します。
- ・地球温暖化の防止、資源の有効活用、化学物質の管理など、設計、製造、流通、販売、廃棄などすべての事業プロセスで環境負荷低減に取り組みます。

### ◆地球内企業として

- ・優れた環境技術や製品の開発と提供、および地域・社会との協調連帯により、環境活動を通じて社会に貢献します。
- ・相互理解の促進のために、積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。

# 東芝グループの事業概要

## 会社概要 (2017年3月31日現在)

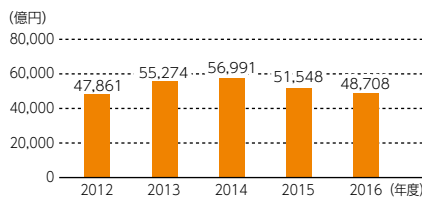
社名 株式会社 東芝  
(TOSHIBA CORPORATION)  
本社所在地 東京都港区芝浦1-1-1  
創業 1875年(明治8年)7月  
資本金 2,000億円  
連結売上高 4兆8,708億円  
連結従業員数 153,492人

支持をしている主なCSR関連の国際的憲章・ガイドライン  
 ● 国連グローバル・コンパクト  
 ● GRI(Global Reporting Initiative)  
 ● EICC(電子業界行動規範: Electronic Industry Code of Conduct)

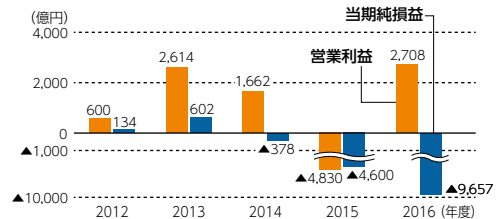
株主数 366,030人  
 発行済株式総数 42億3,760万株  
 グループ連結子会社数 445社(国内148社、海外297社)  
 持分法適用会社数 119社  
 上場証券取引所 東京、名古屋

## 業績(連結)

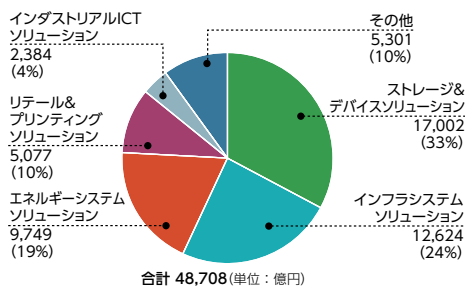
■売上高の推移



■営業利益/当期純利益(損失)の推移

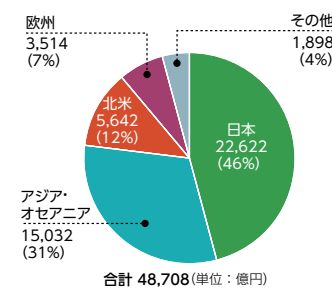


■事業別売上高および構成比(2016年度)

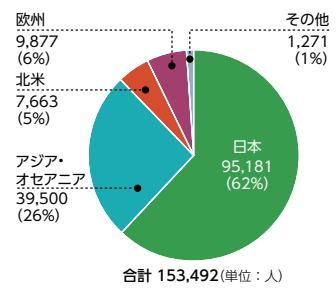


※セグメント間の内部売上高消去3,429億円含む

■地域別売上高および構成比(2016年度)



■地域別従業員の内訳(2016年度)



## 主な製品・サービス

### エネルギーシステムソリューション

火力発電システム、原子力発電システム、水力発電システム、発電、太陽光発電システム、電力流通システム等

### インフラシステムソリューション

計装制御システム、駅務自動化機器、交通機器、電波機器、上下水道システム、環境システム、放送システム、道路システム、ビルファシリティ、エレベーター、エスカレーター、一般照明、産業光源、業務用空調機器、コンプレッサー、産業システム等

### リテール&プリンティングソリューション

POSシステム、複合機等

### ストレージ&デバイスソリューション

小信号デバイス、パワー半導体、光半導体、ロジックLSI、ミックスドシグナルIC、イメージセンサ、NAND型フラッシュメモリ、記憶装置(HDD、SSD)、半導体製造装置等

### インダストリアルICTソリューション

ITソリューション等

### その他

パソコン、テレビ、録画再生機器(BDレコーダー等)、映像機器修理サービス等

## 編集方針


東芝グループは、環境に関する詳細情報をステークホルダーの皆様へ提供することを目的として、1998年から環境報告書を発行しています。2017年版では、長期ビジョンに基づいて策定した第6次環境アクションプランや、モノづくりと製品・サービスにおける地球温暖化防止・資源有効活用・化学物質管理の取り組みなどを掲載しています。グローバルな環境課題が事業にどう影響するのかを把握するため、それぞれの課題に関する「リスクと機会」の分析も行いました。

なお、環境情報以外も含めた当社のESG情報開示の全体像は以下のとおりです。

### 報告書

**財務情報 + 非財務情報**


**アニュアルレポート**  
財務情報を中心に、非財務情報の概要についても報告



[http://www.toshiba.co.jp/about/ir/jp/library/ar/index\\_j.htm](http://www.toshiba.co.jp/about/ir/jp/library/ar/index_j.htm)  
※2017年版は12月発行予定


**非財務情報の詳細**

**CSRレポート**  
CSR活動の詳細を報告



※2017年版は12月発行予定  
[http://www.toshiba.co.jp/csr/jp/report/index\\_j.htm](http://www.toshiba.co.jp/csr/jp/report/index_j.htm)

**環境レポート**  
環境活動の詳細を報告




---

### ウェブサイト

ウェブサイトでは、よりタイムリーに情報を発信しています。

**財務情報**


**投資家情報ウェブサイト**  
財務情報と適時開示情報を発信



<http://www.toshiba.co.jp/about/ir/>


**非財務情報**

**CSRウェブサイト**  
CSR活動情報を発信



<http://www.toshiba.co.jp/csr/jp>

**環境活動ウェブサイト**  
環境活動情報を発信



<http://eco.toshiba.co.jp/>

#### ●報告対象組織

原則として東芝グループ((株)東芝および国内・海外グループ会社(連結子会社445社))を対象としています。東芝グループを対象としていない報告は、個々に対象範囲を記載しています。  
※本レポート中の「東芝」は(株)東芝を意味しています。

#### ●対象範囲

2016年度(2016年4月1日から2017年3月31日まで)の活動を中心に、一部それ以前からの取り組みや、直近の活動報告も含んでいます。

#### ●発行時期

2017年10月(次回:2018年9月発行予定、前回:2016年9月発行)

#### ●報告期間内に発生した重大な変更

以下の事由により、報告対象組織を変更しています。  
 ・2016年6月に東芝ライフスタイル(株)の株式の80.1%を中国法人美的集団股份有限公司グループに譲渡したことにより除外  
 ・2017年3月にウェスチングハウスエレクトリックカンパニー社等に対する米国連邦倒産法第11章に基づく再生手続きの開始により、ウェスチングハウス社グループを東芝グループから除外

## 目次

社長メッセージ	05
環境担当役員メッセージ	06

### Chapter 1 ビジョン・戦略

環境ビジョン2050実現のために	07
第5次環境アクションプランの成果	09
第6次環境アクションプランの策定	11
サステナブル・ポートフォリオ	13
企業活動におけるサプライチェーンGHGを全カテゴリで見える化	14
環境負荷全容	15

### Chapter 2 Business

#### モノづくり

モノづくりにおける貢献	17
地球温暖化の防止	19
資源の有効活用	21
化学物質の管理	23
環境リスクへの対応	25

### Chapter 3 Business

#### 製品・サービス

製品・サービスによる貢献	27
地球温暖化の防止	29
資源の有効活用	33
化学物質の管理	35

### Chapter 4 Management

環境経営基盤の強化	37
環境マネジメント体制	38
環境監査・コンプライアンス	39
業績評価制度	41
教育・人材育成	41
環境コミュニケーション	43
生物多様性の保全	45
環境会計	47
第三者保証	49
社外からの評価	50

#### ●パフォーマンスデータに関する注意事項

・特に注記がない限り、基準年度の値・実績値・目標値すべて2016年度実績集計時点のバウンダリで算出しています。

#### ●参考にしたガイドライン

・GRI(Global Reporting Initiative)  
「サステナビリティ・レポート・ガイドライン第4版(G4)」  
※GRIガイドライン対照表はウェブサイトに掲載しています。  
 ・環境省「環境報告ガイドライン2012年版」  
 ・環境省「環境会計ガイドライン2005年版」

#### ●色覚ユニバーサルデザインへの配慮

色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの方に見やすいような配慮や表示を心がけました。詳細は、環境活動ウェブサイトをご覧ください。

#### 免責事項

この報告書には、東芝グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した事項および所信に基づく見込みです。